

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>

2023.4

SPRING

No.23

熊本県サッカー協会広報紙

2023年4月25日発行 通算第107号

発行者／一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

特集

熊本県フットボールセンター
「COSMOS」の現在地

昨年9月にグランドオープンした熊本県フットボールセンター「COSMOS」。県サッカーの強化・育成・普及の拠点としてはもちろん、カフェ、コワーキングスペース、保育園、コインランドリーなども併設し、さまざまな人々が集う地域の交流拠点を目指しています。オープンから8カ月を経た現在の状況や、今後の展望などについて紹介します。



オープンから8カ月。
さらに“みんなの施設”に!



「作って終わり」ではなく、ようやく一步 スポーツを通して「まちづくり」に貢献を

「COSMOS」は、まだ施設として一步を踏み出したばかりです。今後は、サッカーファミリーと地域の方々、他のスポーツをどうつなげていくかというアイデアを、COSMOS協働機構などを通じて出し合い、建設計画時に掲げた「スポーツを通じたまちづくり」という理念を実現していきたいと思っています。

県サッカー協会としては「自分たちのグラウンドを持つ」という目標は達成出来ましたが、「作って終わり」ではなく、これからどのように運営していくかが重要だと考えています。特に、フィールドを利用するサッカーファミリーの方々は「自分たちで出来ることは自分たちで」という意識で、ぜひ一緒に「COSMOS」を作り上げていってもらえればと思います。すでに社会人チームの中には、ボランティアで芝生広場やスタンド部分の草刈りをしてくださっているところもあります。

施設のハード面については概ね好評を得ています。一方で、現在はヤード(フィールドとフィールドの間のコンクリート部分)に各チームが日よけを作る場合は、テントを持参してもらっていますが、「常設の屋根やテントが欲しい」という声ももっているため、今後の改善点として反映していければと思います。

オープン以後、フィールドの予約状況は順調で、ほぼ当初の計画通りに進んでいます。特に、土日は県サッカー協会の主催大会でほぼ埋まっており、「COSMOS」建設理由の一つだった「大会会場不足」の解消に役立っていると思います。ただ、クラブなどの練習が少ない平日の昼間や土日の夕方以降の利用がまだ不安定なため、今後はそこをどう増やしていくかが課題です。



(株)熊本フットボールセンター
代表取締役
松下 涼太

用具の貸出を行っています!

アレが足りない...

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市町協会などへ、マイクロバスやサッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、自動体外式除細動器(AED)などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

コレがない...

貸出用具
の一例

AED(自動体外式除細動器)



移動用マイクロバス(29人乗り)

貸出用具の詳細などは熊本県サッカー協会ホームページでご確認ください

KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕 様：タブロイド版・8ページ 横273mm×縦406mm
内 容：発行部数：5,000部／1回
配布対象：会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。

熊本県フットボールセンター
「COSMOS」の所在地

拠点施設があることの強みを実感

COSMOS利用クラブの声

「県サッカーの強化・育成・普及の拠点」という位置づけでスタートした「COSMOS」。実際に施設を利用しているクラブの指導者は、このフットボールセンターの環境をどのように感じているのでしょうか。県内を代表する2つのクラブに話を聞きました。



練習拠点が出来、他クラブとのコミュニケーションも密に

ブレイズ熊本サッカークラブ 代表 野元 恒兵さん

「COSMOS」が出来るとは、月出と嘉島の2カ所で練習を行っていましたが、現在は週1回のクラブの練習は「COSMOS」で行っています。クラブの事務所も「COSMOS」内にあるので、その意味でもここが拠点となっていると思います。また、多くのクラブが利用しているので、以前よりもクラブ間のコミュニケーションが取りやすいのもいいですね。一方で、まだ選手の控え(更衣)室やシャワー室がありませんが、女子選手の着替えなどを考えると、出来るだけ早く設置して欲しいと思います。また、複合施設の強みを生かして、選手をトータルでサポート出来るよう、整骨院などが入っているといいなと感じます。加えて、指導者が試合を俯瞰で見渡せるよう、やぐらのようなものがあれば嬉しいですね。

人工芝や明るい照明など練習環境の向上は大きなメリット

ソレツ熊本サッカークラブ コーチ 三角 将行さん

これまでは複数のグラウンドの中から空いているところを探して練習場所を確保していましたが、「COSMOS」をメインに使用できるようになってからその苦労も解消されました。また以前は、練習場所以上に大会会場の確保が大変でしたが、「COSMOS」は県サッカー協会主催の大会が優先的に使えるのもとても楽です。さらに、これまでは土のグラウンドでの練習も珍しくなかったのですが、人工芝で照明も明るい「COSMOS」のフィールドは、子どもたちの練習環境の向上という点でも素晴らしいと思います。サッカー専用で作られているので、フィールドとフィールドの間のヤード部分やピッチ周りにゆとりがあり、選手たちのアップや移動などがスムーズに出来る点もありがたいですね。



募 集

COSMOSを一緒に作り上げていく“仲間”を募集中!

COSMOSを使いこなしたい人たちが、維持管理を手伝っていただける人たちが構成する任意団体「COSMOS協働機構」(以下、機構)を立ち上げました。機構は、COSMOSの維持管理や運営を(株)熊本フットボールセンターと協働します。

具体的には、スポーツや外遊びによる新たな日常と文化を生み出すことを目的に、イベント運営活動や維持管理活動等を行います。例えば、「ヒロバやヤードを使ってマルシェやフリマをやりたい」「フリスビーやパルクールなど、ニュースポーツのイベントをやりたい」

「映画の上映会やパブリックビューイング、ライブをやりたい」「地域のお祭りや餅つきをやりたい」「DIYで園内のベンチを作りたい」など。

また、COSMOSは総面積54,000㎡と広大なので、大会やイベント後のゴミ拾いや日頃の草刈りなども大変です。維持管理も大勢で楽しく参加型イベントとして行っていきます。企画から運営、そして維持管理まで、協働しながら引っ張っていただける方、それをサポートしていただける方、ぜひ、仲間に加わってください。

[お問い合わせ・入会申し込み]

COSMOS協働機構事務局[(株)熊本フットボールセンター内] / ☎096-285-3810

または、熊本県フットボールセンターCOSMOSホームページの「お問い合わせ」からどうぞ。

COSMOSの最新情報やフィールド予約はホームページで!

熊本県フットボールセンター「COSMOS」に関する情報は、COSMOSのホームページでご覧になることが出来ます。イベント情報などのさまざまなニュースや施設の案内のほか、フィールドの予約や空き状況の確認なども出来るようになっていきます。

COSMOSでは、サッカーのチーム練習や大会だけでなく、ヒロバ(芝生広場)を使ったマルシェなどのイベント、カフェ、コインランドリーなど、サッカーに関係のない人でも利用できる環境が整っています。ぜひ、ホームページをチェックして、COSMOSに足を運んでみてください!



ホームページはコチラ!
<https://cosmos-kfc.com>



フィールド予約の
申込フォームはコチラ!

サッカー
応援番組

KICK OFF! KUMAMOTO

キックオフ!クマモト

TKUテレビ熊本で放送中!!

TKUテレビ熊本では、毎週日曜・朝8時45分から『熊本のサッカーの未来のために』を掲げ、サッカー応援番組「KICK OFF! KUMAMOTO」を放送中です。

明治田生命J2リーグ所属のロアッソ熊本の最新情報はもちろん、普段なかなか見ることが出来ないロアッソの選手たちの素顔から、県内のキッズ・ジュニアや中高生のクラブチーム紹介まで、熊本のサッカーに関する内容を盛りだくさんでお伝えしています。番組公式Twitterもありますので、ぜひそちらもチェックしてみてください。



あなたのチームにも
取材が来るかも!?



サッカーが さらに好きになる!



番組ホームページは
コチラ!



番組公式Twitterは
コチラ!



私たちは「COSMOS」を応援しています!

★ COSMOS 協賛企業紹介 Vol.1 ★

熊本県フットボールセンター「COSMOS」は、県内外のさまざまな企業・団体・個人の皆様の寄付や応援ファンドへの出資によって、建設費の一部を賄っています。今号と次号の2回に分けて、その中から特に5社の協賛企業を取り上げ、出資への思いや今後の「COSMOS」へ期待することなどを紹介します。



東亜道路工業株式会社

DATA

設立／昭和5年11月28日
資本金／75億8,418万8,930円
代表者／取締役社長 森下協一
本社／〒106-0032 東京都港区六本木7-3-7
TEL.03-3405-1811
FAX.03-3405-9800

企業概要

1930年、日本初のアスファルト乳剤の輸入・販売会社として横浜の地で設立。創業以来、日本の社会インフラ整備に関わる建設会社として地域社会に貢献してきました。これまでの道路建設事業の経験を活かし、スポーツ事業や環境事業など幅広い分野に活躍の場を広げています。今回、熊本県フットボールセンター「COSMOS」建設に当たっても、サッカーフィールドの施工を担当しました。

出資したきっかけや「COSMOS」への思い

JYD パートナーであり、高円宮記念 JFA 夢フィールド、そして熊本県フットボールセンター「COSMOS」の建設に携わった企業として、サッカーには非常に縁を感じています。弊社はこれまで多くのスポーツ施設の建設に関わり、「人々が快適に利用できる施設づくり」や「訪れた人が笑顔になり賑わいが続く場づくり」を目指してきました。スポーツ施設を整備するだけでなく、その後のスポーツ文化の発信や交流イベントの開催などに少しでも役立ててもらえればとの思いで出資しました。

今後「COSMOS」や県サッカー協会に期待すること

熊本県フットボールセンター「COSMOS」には、サッカーフィールド以外にも芝生広場やカフェ、保育園、シェアオフィス、ショップなど、多種多様な付帯施設があります。サッカーをはじめ、世代を問わず多目的に利用できる複合施設として、多くの皆様にご利用いただきたいと思います。そのためにも、フットボールセンターを最大限に活用し、さまざまなスポーツ体験やイベントの開催など、特に子どもたちが多くの経験ができる機会を増やしてもらい、スポーツ界や地域の発展につながる施設になることを期待しています。



株式会社キューネット

DATA

設立／昭和46年 8月
資本金／1 億円
代表者／代表取締役社長 西川尚希
所在地／熊本市中央区帯山4-18-1
TEL.096-383-9111

企業概要

昭和46(1971)年に、熊本市本山町に「九州警備保障株式会社」を設立。法人向け機械警備のほか、ホームセキュリティ、施設常駐警備、総合ビル管理、貴重品運搬、高齢者向け緊急通報システムなどを展開しています。



出資したきっかけや「COSMOS」への思い

地元で頑張っているクラブチームとその活動を支援することを通じて、熊本の元気と活性化につながればとの思いに加え、サッカーやスポーツに打ち込む子どもたちの夢を育て応援していきたいとの思いから熊本県フットボールセンター「COSMOS」に出資しました。

今後「COSMOS」や県サッカー協会に期待すること

これからも、「COSMOS」というフィールドを通して、そこに集う子どもたちの夢につながるきっかけとなる活動を展開していただきたいと思います。



株式会社シアーズホーム

DATA

設立／平成元年 1月17日
資本金／1 億円
代表者／代表取締役 丸本文紀
所在地／熊本市南区馬渡2-12-35
TEL.096-370-0007



企業概要

不動産業からスタートした当社は、平成5(1993)年より本格的に注文住宅建築を開始。以来、30 有余年に渡って熊本を拠点として住宅建築事業、住宅リフォーム事業、公共工事事業、不動産事業、環境事業などを通じて、地域の皆様の住まいのお世話をさせていただいています。

出資したきっかけや「COSMOS」への思い

地域に生かされ、育ててもらった企業として、何らかの形で地域の皆様に還元することが私たちの使命であると考えています。今回、熊本県フットボールセンター「COSMOS」のクラブハウス並びに施設内保育園の建設施工に関わったご縁で、応援ファンドに参画させていただきました。

今後「COSMOS」や県サッカー協会に期待すること

サッカーを通じたスポーツ振興はもとより、地域住民の活動・交流拠点として、さまざまな世代が豊かな時間を過ごせる多機能型複合施設を目指す県サッカー協会に共感・賛同しています。同時に、本来の役割である熊本県サッカー界の強化育成拠点としての機能が存分に発揮されること、そして、「COSMOS」を介して未来のサッカー界を担う選手が羽ばたいていくことを心より願っています。

2022年度 表彰式並びに祝賀会

3年ぶりの開催に喜びと笑顔
県サッカー界の新たな未来へ

1月21日、熊本市中央区のメルパルク熊本で、県サッカー協会の「2022年度表彰式並びに祝賀会」を開催しました。同会はコロナ禍で中止が続いていましたが、3年ぶりに再開。感染対策の徹底や以前よりも人数を減らしての開催ではありましたが、それでも久々の晴れの席に参加者の表情も一様に明るく、ようやく日常が戻りつつあることが実感できる場となりました。開会にあたり挨拶に立った河田信之会長は、昨年9月にグラウンドオープンした熊本県フットボールセンター「COSMOS」に触れ、「完成は皆さんの情熱と努力の賜物。ここを拠点に県サッカー界がさらに発展することを願っています」と謝辞と今後への期待を述べました。



約70人が参加して盛大に行われた祝賀会

その中で、第100回全国高校サッカー選手権で準優勝を果たした県立大津高校の山城朋大監督は、「勝ち上がるほどに県民の皆さんの声援の大きさを感じました。今後も、県、日本のサッカー界の次代を担う選手を輩出できるように精進していきたい」と今後への意気込みを語りました。最後は、県サッカー協会の北岡長生副会長の音頭で万歳三唱を行い、2022年度の表彰式並びに祝賀会の幕を閉じました。



ステージ上では各賞受賞者へのインタビューも



各賞の受賞者には河田会長から賞状や記念品が渡された



挨拶に立った河田信之会長

〈各種表彰受賞者〉

日本代表選手表彰

SAMURAI BLUE 谷口 彰悟選手
SAMURAI BLUE 満田 誠選手
ビーチサッカー 木船 祐樹選手
U-19 佐藤 瑠星選手
U-16 道脇 豊選手
U-16 吉永 夢希選手

文部科学大臣表彰

生涯スポーツ優良団体／球磨郡サッカー協会様

日本サッカー協会表彰

功労者／前川隆道様

全国大会上位入賞

第100回全国高校サッカー選手権大会準優勝
熊本県立大津高等学校サッカー部様



河田会長と出席した受賞者が壇上で記念撮影

チャレンジド
委員会
の取り組み

障害の有無に関わらず、誰もがサッカーを楽しめる環境を！

「チャレンジド」とは、「神から挑戦(チャレンジ)という使命を与えられた人」を意味する言葉で、障害をマイナスにのみ捉えるのではなく、自分自身や社会のためにポジティブに生かしていこうとの思いで用いられるようになった呼称です。現在、県サッカー協会にもチャレンジド委員会があり、障害のある・なしに関わらず、「スポーツを楽しみたい!」という人たちがサッカーに取り組める“場”づくりに努めています。今回は、その活動の一部を紹介します。

ろう者サッカー
(フットサル)

全日本選手権大会の開催に協力

昨年7月、宇城市のウイングまつばせを会場に、「第12回全日本ろう者フットサル選手権大会」が開催されました。これは、ことし3月にマレーシアで行われたデフフットサルW杯アジア予選や11月のデフフットサルW杯ブラジル大会に向けてのものです。この大会の開催に当たっては、チャレンジド委員会でも協力を実施しました。大会を主催した日本ろう者サッカー協会からのメッセージを紹介します。

コロナ禍で開催地や日程がなかなか決まらず、延期や開催地変更などを余儀なくされた中、熊本県サッカー協会のフットサル委員会、チャレンジド委員会のご協力で無事大会を開催することが出来ました。

各都道府県のろう者フットサルチームが熊本に集い、日本一を目指して日々の練習の成果を披露しました。前回より個々の技術、チームワークともにレベルアップしており、激しいプレーが見られる場面もありましたが、大きなケガもなく無事終えることが出来て良かったです。特に、試合を終えた選手たちが笑顔で相手にリスペクトを示し、互いに称え合うシーンは感動的でした。

また、開催に当たってご協力いただいた熊本県サッカー協会フットサル委員会、チャレンジド委員会のサポートは、とても心強かったです。大会に関わったスタッフの皆様のおかげで無事終えることが出来ましたことを心から感謝しております。昨年は残念ながら無観客開催でしたが、次回是有観客で開催し、さらにろう者フットサルが盛り上がるよう、緻密に協議していきたいです。2025年11月には、デフリンピックが日本で開催されます。ぜひ皆様の応援をよろしくお願いいたします。

一般社団法人日本ろう者サッカー協会
宮原 慎也



昨年7月に開催された「全日本ろう者フットサル選手権大会」の様子＝写真提供／一般社団法人日本ろう者サッカー協会

ロービジョン
フットサル代表チームの活動費サポートや
体験会を開催

「ロービジョンフットサル」は、目の見えにくい視覚障がい者(弱視者)が、残された視力・視野を駆使してプレーするフットサルです。その日本代表チームは、地道な強化の結果、世界大会でも少しずつ実績を上げられるようになってきました。しかし、世界で活躍していくための体制はまだ十分とはいえ、強化合宿や海外遠征の際は、監督や選手が実費で活動していることも多いのが現状です。

そうした状況を改善しようと、2016年に、当時の代表監督が熊本出身だった縁で、熊本に「ロービジョンフットサル日本代表を応援する会」が発足しました。主な活動は、体験会の開催。より多くの方にこの競技を知ってもらえるよう、熊本県内の小学校や支援学校などを回っています。また、数年おきに開催される世界大会の際は、滞在中にかかる費用面のサポートなども行っています。



昨年6月に行われた平井小学校(荒尾市)での体験会の様子

コロナ禍で活動自粛が続いていましたが、徐々に体験会も再開。昨年は、荒尾市立平井小学校や熊本市立長嶺小学校で実施しました。今後も代表選手の目標、夢の達成のため、そして視覚障がいの子どもたちの未来のために活動していきます。



体験会の様子は度々新聞にも取り上げられました



今回からこのコーナーでは、県サッカー協会理事で広報委員長を務めるフリーアナウンサーの風戸南陽子さんが、県内外のサッカーファミリーと対談していきます。1回目は、熊本市出身で2022年になでしこリーグ1部で最優秀選手賞(MVP)を獲得した大竹麻友選手(スフィーダ世田谷)に話を聞きました。

サッカーのスキルだけでなく 人として応援される選手になりたい！

風戸 2022年は、チームとしてもなでしこリーグ1部で初優勝し、ご自身もMVPを獲得するなど素晴らしい年でした。振り返ってみてどんな1年でしたか？

大竹 チームメイトが面白い人ばかりで、サッカーをやるのがすごく楽しかったですね。ただリーグ終盤には、7連勝しない優勝出来ないというプレッシャーもあったので、とにかく「1戦1戦、自分たちのサッカーをやり通そう！」という感じでした。

風戸 なでしこリーグの試合をYouTubeで拝見しましたが、大竹選手のプレースタイルは、フォワードとして得点も取るけれど、守備でもすごく動きますよね。昔からそういうタイプなんですか。大竹 昔からというより、「チームが勝つためにどうすればいいか？」を常に考えていて、その中で私はテクニクのあるプレーヤーではないので、走ることが一番チームへの貢献になるのかなと思ってやっています。

風戸 大竹選手は熊本市出身ですが、サッカーを始めたのはいつ頃ですか？

大竹 小学4年生、9歳からです。

風戸 始めたきっかけは覚えていますか。

大竹 兄が部活でサッカーをやっていたので、それについて行った時、たまたま蹴ったボールがゴールに入ったことで「楽しい！」と思ったことを鮮明に覚えています。

風戸 そこからスタートして、「益城ルネサンス熊本FC」に入ったんですね。どんな思いで入ったんですか？

大竹 同じ女子の中で、自分はどういう選手に憧れていたか？

大竹 中学生の時に受けた取材では「将来は、なでしこジャパンになりたい」という夢を語っていました。当時は、澤穂希選手と岩渕真奈選手に憧れていました。

ハードな日々でも「感謝」の気持を忘れずに

風戸 その後、日ノ本学園高校(兵庫県、帝京平成大学を経て、2019年から「スフィーダ世田谷」に所属しています。このチームに決めた理由は、どんなところだったんですか。

大竹 実は、もう一つ入りたいチームがあり、どちらに行くかとても悩んでいました。その中で、スフィーダ世田谷から、「どうしてもうちのチームに必要だから、ぜひ入ってもらえないか」と誘われ、「自分が必要

とされている」ことに幸せを感じて決めました。ちよつとサッカーに対する自信をなくしかけていた時期でもあったのですが、この時の出来事が自分の心を救ってくれた形だったので、「このチームに恩返しをしたい」という思いで入団しました。風戸 入団までにそんな経緯があったんですね。それから約4年が経ちましたが、改めてその時の自分の選択を振り返ってどう感じますか。

大竹 もちろんどのチームに入っ

も強い女子チームがありましたが、その中で益城ルネサンス熊本FCは、常に優勝を目指しているチームだったのが魅力的に感じました。風戸 そこから、なでしこリーグでプレーするまでになったわけですが、いつ頃から意識していましたか？

大竹 中学生の時に受けた取材では「将来は、なでしこジャパンになりたい」という夢を語っていました。当時は、澤穂希選手と岩渕真奈選手に憧れていました。



大竹 朝10時から午後3時まで仕事をし、その後一旦家に帰って夕食の準備や家事を済ませて、夜7時から9時まで練習です。あとは、帰ってご飯を食べてお風呂に入って寝るというのが日々のサイクルですね。風戸 なかなかハードな毎日ですね。大竹 確かにハードですが、練習時間を考慮して、働く時間を5時間にしてもらっていたりと、とてもやりやすい環境を与えてもらっていると感じています。

風戸 トレーニングと仕事を両立させながらの生活は大変だと思えますが、1日のスケジュールはどんな感じですか？

大竹 朝10時から午後3時まで仕事をし、その後一旦家に帰って夕食の準備や家事を済ませて、夜7時から9時まで練習です。あとは、帰ってご飯を食べてお風呂に入って寝るというのが日々のサイクルですね。風戸 なかなかハードな毎日ですね。大竹 確かにハードですが、練習時間を考慮して、働く時間を5時間にしてもらっていたりと、とてもやりやすい環境を与えてもらっていると感じています。

風戸 皆で分かち合うことに喜びを感じるのが大竹選手らしいですね。確かに、サッカーではどんなに頑張っても一人では点は取れないし、試合にも勝てませんからね。では最後に、熊本県民の皆さんにメッセージをお願いします。

今しか出来ないことに本気で取り組むことが大事

風戸 その感覚いいですね。他の皆さんにとっても大竹選手の存在が刺激になっている部分もあると思います。その中で、メンバー全員が「このチームのために勝たない」と思ってプレーしているし、メンバーから外れた選手たちも同じ思いを共有出来ている。そういう「誰かのために頑張れる」選手が集まったチームだからこそ、最後に7連勝して追い上げられたのかなと思います。

大竹 歳を重ねるにつれて進学や就職など、いろいろなことを考えないといけないようになりますよね。サッカーのことだけを考えると頑張れる時期って今しかないの、思いつきやれるうちに本気で取り組んだ方がいいと思います。その中で上手くなれるように、心からサッカーを楽しんで欲しいですね。風戸 大竹選手にとってサッカーの一番の魅力ってどんなところですか。大竹 点を取った時や試合に勝った時にチームメイトと喜びを分かち合えるところだと思います。個人競技では味わえない部分ですからね。

風戸 皆で分かち合うことに喜びを感じるのが大竹選手らしいですね。確かに、サッカーではどんなに頑張っても一人では点は取れないし、試合にも勝てませんからね。では最後に、熊本県民の皆さんにメッセージをお願いします。

大竹 私たちのサッカーの原点は熊本。多くの方の支えで今の自分があると思っているので、これからも皆さんからたくさんの応援をもらえる選手になれるように頑張りたいと思います。

風戸 私もお手伝いしていきます！今日はありがとうございました。



スフィーダ世田谷 大竹 麻友選手

1997年、熊本市生まれ。164cm/58kg。ポジションFW。益城ルネサンス熊本FC Jr(U-12)～益城ルネサンス熊本FC(U-15)～日ノ本学園高等学校～帝京平成大学女子サッカー部を経て2019年シーズンからなでしこリーグのスフィーダ世田谷に所属。2020年に2部で、2022年に1部で最優秀選手賞(MVP)を受賞。



2度の大ケガで感じた「サッカーができる幸せ」

風戸 大竹選手の「Linedribble」なども拝見しましたが、チームメイトに対する思いがたくさん綴られていたのも、とてもいい感じでサッカーに取り組んでいるんだろななど感じました。一方で、高校以来、熊本を離れての生活が続いていますが、故郷への思いはありますか。

大竹 やっぱ、たまに帰って来ると落ち着きますし、熊本でサッカーを始めて成長させてもらって今があるので、感謝の気持ちはずっと忘れないです。

風戸 サッカー選手として、一番大事にしていることは何ですか？

大竹 サッカー選手である以前に、一人の人間として人との関わりを大事にしたり、他人を尊敬したりすることですね。サッカーの実力はもちろんですが、私は「人として応援される選手」が強いと思っています。

風戸 職場の皆さんからは、どんな声を掛けられましたか？

大竹 試合前などは「頑張つてね！」と言われますし、試合を観に来てくれる社員の方もたくさんいます。優勝を決めた翌日には、職場の私のデスクが風船などで飾り立てられていてびっくりしました(笑)。

風戸 皆さんにも喜んでもらえて良かったですね。今回の優勝の要因は何でしょうか？

大竹 技術や戦術面は、どのチームもレベルが高いし、逆にうちが他より劣っているところもあると思います。その中で、メンバー全員が「このチームのために勝たない」と思ってプレーしているし、メンバーから外れた選手たちも同じ思いを共有出来ている。そういう「誰かのために頑張れる」選手が集まったチームだからこそ、最後に7連勝して追い上げられたのかなと思います。

大竹 朝10時から午後3時まで仕事をし、その後一旦家に帰って夕食の準備や家事を済ませて、夜7時から9時まで練習です。あとは、帰ってご飯を食べてお風呂に入って寝るというのが日々のサイクルですね。風戸 なかなかハードな毎日ですね。大竹 確かにハードですが、練習時間を考慮して、働く時間を5時間にしてもらっていたりと、とてもやりやすい環境を与えてもらっていると感じています。

大竹 朝10時から午後3時まで仕事をし、その後一旦家に帰って夕食の準備や家事を済ませて、夜7時から9時まで練習です。あとは、帰ってご飯を食べてお風呂に入って寝るというのが日々のサイクルですね。風戸 なかなかハードな毎日ですね。大竹 確かにハードですが、練習時間を考慮して、働く時間を5時間にしてもらっていたりと、とてもやりやすい環境を与えてもらっていると感じています。



2022年シーズンに大竹選手が受賞した最優秀選手賞(MVP)やベストイレブンのトロフィーなど



県協会所属チーム紹介

Pick-up! Football Family

Vol.17

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

女性だけのフットサルチーム。熊本を代表して各種大会に参加



▲発足時から参加している九州女子フットサルリーグ。熊本県からの参加はPrimeiro熊本だけ

Primeiro熊本

フットサル

- 設立／2013年
- 代表／嶋村 麻美
- 選手数／12名

〈チーム沿革〉

- 2013** (平成25)年 チーム発足
九州女子フットサルリーグ参戦(優勝)
- 2020** (令和2)年 九州女子フットサル選手権優勝
全日本女子フットサル選手権大会出場
- 2022** (令和4)年 九州女子フットサルリーグ2位



▶男子選手と一緒に練習することで、戦術的にも技術的にもレベルアップが図られています

2013年に発足した「Primeiro(プリメーロ)熊本」は、女性だけのフットサルチーム。チーム発足時から参戦している九州女子フットサルリーグでは、初年度に優勝、昨年は8チーム中2位の好成績を納めました。

メンバーは18歳～30代の12名。フットサルやサッカー経験のあるメンバーばかりではなく、代表を務める嶋村麻美さん自身、職場の同僚に誘われてボールを蹴ったのがフットサルとの出会い。他のメンバーも、バスケットボールや陸上競技など、スポーツ経験はあるものの「フットサルは初心者」という人が少なくありません。

練習は毎週土曜の夜8時から、週1回ですが、掛け持ちで参加している他チームの練習や個人参加型のフットサルで体を動かし、技術を磨く人も。また、過去にビーチサッカー日本代表に選ばれた経験を持つ前田直輝さんの専門的な指導の下、前田さんが主宰する男子チームの選手たちと一緒に、戦術面の理解も含めた質の高い練習を行っていることも好成績の理由の一つです。



平 華子さん

楽しくプレーする中でも、1対1の駆け引きなど頭を使った「考えるフットサル」ができるのがチームの特徴。九州リーグ得点王が目標です。



嶋村 麻美さん

スピードのある展開で、得点がたくさん生まれるのがフットサルの面白さ。一緒に楽しみながら頑張る仲間を募集しています。

アヴェルダージ熊本BS ベルメール

ビーチサッカー

- 設立／2018年
- 代表／坂田 淳
- 選手数／12名

〈チーム沿革〉

- 2018** (平成30)年 ベルメール熊本設立
- 2022** (令和4)年 アヴェルダージ熊本BSベルメール設立

熊本県内で唯一、女子だけのビーチサッカートーム



▲シュート練習の様子。男子チームの監督も務める坂田さん(奥)から戦術的な指導も受けながら取り組んでいます



桑原 美帆さん

フットサルと掛け持ちしています。砂の上なので転んでも痛くないし、浮き球を扱うアクロバティックなプレーができるのがビーチサッカーの魅力です。



増田 美風さん

膝を痛めてサッカーから離れていましたが、砂の上なら負担が少ないので、ビーチサッカーにシフトしました。サッカー経験がなくても気軽に楽しめます。

▶ウォーミングアップの段階から楽しそうな雰囲気



日本代表選手も輩出しているビーチサッカーの強豪チーム「アヴェルダージ熊本BS」のレディースチームとして誕生した「アヴェルダージ熊本BSベルメール」。中学生から40代までと選手層は幅広く、スポーツ歴も多種多様。砂浜の上でプレーするため、経験者と初心者との技術の差が出にくいのも、ビーチサッカーの大きな魅力といえます。

男子チームが非常に高いレベルのカテゴリーで戦っていることもあり、毎週日曜、男子の後にしている練習は本格的。ウォーミングアップに始まり、浮き球の処理も含めた砂の上でのボールコントロール、コンビネーションからのシュートなど、笑顔がこぼれる和やかな雰囲気の他にも、一人一人が向上心を持って取り組んでいる様子が見え隠れします。

毎年7～9月に行われる九州リーグのほか、全国大会にあたる地域チャンピオンズカップ、地域ごとに開催される1DAYの大会などを目標にしていますが、女子のビーチサッカーチーム自体が少ないため試合数も限られる上、大会に出場するにもほとんどが県外開催のため、多額の移動費がかかるなど、苦勞する点も少なくありません。

しかし、高校卒業を機にサッカーから離れてしまったリ、ケガでプレーを断念せざるを得なくなったりした女子選手にとって、少人数でも楽しめ、膝や腰への負担が少ないビーチサッカーは最適な選択肢の一つ。今後は女子日本代表の活動も本格化するため、男子同様、熊本から世界を目指すチャンスもありそうです。

熊本サッカー今昔物語

～第五回～

創立から70年以上の歴史を持つ熊本県サッカー協会。その歴史を振り返るコラム「熊本サッカー今昔物語」。今回は、現在、県サッカー協会の副会長を務める北岡長生さんに、自身の理事長時代の苦労や取り組んださまざまな事業について語ってもらいました。

手探りで始めた理事長業務

学びを得てさまざまな事業を展開

熊本県サッカー協会副会長 北岡 長生

1978(昭和53)年から県協会の理事を務めはじめ、今年で46年目を迎えます。1999(平成11)年の熊本国体終了を契機に当時の山本徹理事長が退任され、私が理事長に就任したのが翌年2000(平成12)年。日本電話番号現NTTに勤めながら協会のかじ取りを任されました。

それまでの協会の活動は、来たる熊本国体の大会運営と強化に人員を配置して取り組んでいたため、最初の1年間は理事長がどんな仕事をするのかさっぱりわからず手探りの状態でした。加えて、会社勤めをしながらの協会活動は制約も多く、力を発揮できないと悩んでいたところ、2004(平成16)年日本サッカー協会の川渕三郎会長指導の下、CHQ(キャプテンヘッドクォーターズ)事業をスタートさせたのを契機に、県協会もこの事業にとり組むことになりました。

事業推進のため、さまざまな事業の企画書作成を試みましたが、多岐にわたり困難を極め、簡単には作成実行できませんでした。そんな折、日本サッカー協会が、第1回スポーツマネジャーズカレッジ以下SMCを開設したと聞き、一から勉強しようと思いを決しました。1年間に及ぶ東京での研修は、意義・目的・内容とも素晴らしく、職場での経験だけの狭い範囲の知識を頼る自分には、大きく見識を見開いてくれるものとなりました。その研修での学びが、その後の県協会運営や事業推進、とりわけ会計経理面の実務運用に生かされたこ

とは言うまでもありません。

平成16年度は、前年から県協会を挙げて取り組んできた社団法人化への実現に向けた一大転機の年でもありました。県協会が大きく躍進を遂げ、透明性のある組織体として、他の競技団体にさきがけ、信頼される団体へと生まれ変わった年です。この時、東京でのSMC研修で培った企画力を生かし、事業推進の企画書を理事会に提示して承認されたことが、その後の協会運営を推進していく上での自信に繋がりを、専従理事としての活動を強く意識するきっかけにもなりました。

その後、理事会の審査を経て、2005(平成17)年4月(当時54才)にNTTを円満退職し、県協会の専従専務理事としての活動が始まりました。ちなみに、SMCを受講し、仕事を退職して県協会専従になった事例は全国でも初だったそうです。

協会理事長として2000年からの10年間で、以下のような事業に取り組んだので、この場を借りて紹介させていただきます。

- ① PHQ支援事業への積極的な取り組みを通して、支援総額全国ベスト5を獲得
- ② JFA主催大会の誘致(国際・国内大会)を5年間で9大会実施
- ③ PCA会計ソフトの導入による明瞭性・透明性のある会計処理

④ Jリーグ・海外チームのキャンプ地誘致事業(5年間延べ18チームの誘致に成功)

⑤ キッズ事業を核とした協会活性化事業

⑥ 諸事業を成功させるための人材育成並びに人材発掘事業など

専務理事としての13年間は、協会事務局・協会役員、各登録チームの方々をはじめ、関係各位の温かいご理解とご協力に支えられて出来た事業内容だったと確信しています。今後とも、さまざまな事業実績を踏まえ、貴重な経験を生かし、サッカーを志す皆様と共に未来に輝くキッズの夢を育むべく、県協会のさらなる発展に寄与出来るよう邁進する覚悟です。

最後に、熊本県サッカー協会登録の全国制覇したチーム及び団体を紹介して私のコラムの結びとします。

【県勢全国大会優勝チーム一覧】

1978(昭和53)年	第1回全日本選抜中学生サッカー大会／熊本県選抜[監督：遠山和美]
1985(昭和60)年	第20回全国高等学校総合体育大会(サッカー競技)／九州学院高校[監督:菊池隆昭]
1989(平成 元)年	第5回全国高校女子サッカー大会／大津高校[監督：荒木時彌]
1990(平成 2)年	第21回全国中学校サッカー大会／砥用中学校[監督：前野講紀]
1996(平成 8)年	第51回広島国体サッカー競技／熊本県選抜(総合優勝)
1998(平成10)年	第34回全国社会人サッカー大会／NTT九州[監督：武田昭二]
2002(平成14)年	第57回よさこい高知国体サッカー競技／熊本県選抜(総合優勝)
2004(平成16)年	第35回全国中学校サッカー大会／ルーテル学院中学校[監督：遠山和美]
2005(平成17)年	第36回全国中学校サッカー大会／ルーテル学院中学校[監督：遠山和美]
2005(平成17)年	第41回全国社会人サッカー大会／ロッソ熊本(現ロアッソ熊本)[監督：池谷友良]

Result

各カテゴリー大会結果報告

県サッカー協会の各カテゴリーの試合結果をお知らせします。

県内大会・県予選

〈1種 社会人〉

KFA 第56回熊本県サッカーリーグ大会

日程：2022／7／24～12／25
会場：県民総合運動公園スポーツ広場ほか
結果：優 勝／マリーゴールド熊本
※リーグ未消化試合があるため、1位のみ確定

〈1種 学生〉

KFA 大杉杯争奪2022年度熊本県学生リーグ大会

日程：2022／7～12月
会場：県内各大学・高専グラウンド
結果：優 勝／東海大学熊本 準優勝／熊本大学体育会

〈2 種〉

KFA 第101回全国高等学校サッカー選手権熊本県大会

日程：2022／10／1～11／12
会場：水前寺陸上競技場他
結果：優 勝／大津高校 準優勝／ルーテル学院高校
第3位／熊本商業高校、国府高校

令和4年度県下高校サッカー大会(男子)

日程：2022／1／7～28
会場：八代陸上競技場他
結果：優 勝／熊本商業高校 準優勝／慶誠高校
第3位／大津高校

第18回熊本県高等学校女子サッカー選手権大会

(兼第33回九州高等学校女子サッカー選手権大会熊本大会)

日程：2022／10／1～22
会場：益城町総合運動公園陸上競技場他
結果：優 勝／秀岳館高校
準優勝／東海大学付属熊本星翔高校
第3位／慶誠高校

令和4年度県下高校サッカー大会(女子)

日程：2022／1／7～28
会場：益城町総合運動公園陸上競技場他
結果：優 勝／秀岳館高校
準優勝／東海大学付属熊本星翔高校
第3位／慶誠高校

〈3 種〉

第51回熊本県教員蹴友会会長旗争奪

KFA 熊本県中学校U-14サッカー選手権大会

日程：1／14～2／4
会場：熊本県フットボールセンター(COSMOS)他
結果：優 勝／ルーテル学院中学校
準優勝／武蔵ヶ丘中学校
第3位／鶴城中学校、京陵中学校

〈女 子〉

KFA 第27回熊本県U-15女子サッカー選手権大会

兼JFA 第27回全日本U-15女子サッカー選手権大会熊本県大会

日程：2022／9／17、22
会場：熊本甲佐総合運動公園
結果：優 勝／熊本ユナイテッドSCフローラ
準優勝／益城ルネサンス熊本FC

TAMACYAN CUP

日程：2022／9／25
会場：熊本甲佐総合運動公園
結果：優 勝／Aグループ)益城ルネサンスU-15
Bグループ)スポーツの森・大津マリノス
準優勝／Aグループ)くまもとレディースジョッカー
Bグループ)益城ルネサンスO-16

KFA 第11回熊本県U-18女子サッカー選手権大会

兼KYFA 第26回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2022／9／10、10／1
会場：エコパーク水俣陸上競技場

結果：優 勝／熊本ユナイテッドSCフローラ
準優勝／八代フューチャーズレディース
第3位／MELSA熊本FC

KFA 第32回熊本県U-12女子サッカー選手権大会

兼JFA U-12ガールズゲーム2022九州

第9回なでしこMIYAZAKIカップ熊本県大会

日程：2022／10／8、9 会場：熊本甲佐総合運動公園
結果：優 勝／ピアンカスにしはら
準優勝／嘉島セルシアFC

KFA 第48回熊日学童オリンピックサッカー競技(女子サッカー)

日程：2022／10／2、11／3
会場：熊本甲佐総合運動公園
結果：優 勝／嘉島セルシアFC
準優勝／ピアンカスにしはら
第3位／MELSA熊本FCボニータ

JFA レディースサッカーフェスティバル2022IN熊本

日程：1／14 会場：大津町運動公園
結果：優 勝／ENJOYの部)エルフリーデあさぎり
ATHLETEの部)REPLO
準優勝／ENJOYの部) Bear North8
ATHLETEの部) 久しぶりにサッカーし隊！
第3位／ENJOYの部) スポ森やるばい
ATHLETEの部) SPEC

〈フットサル〉

JFA 第28回全日本フットサル選手権熊本県大会

日程：2022／10／2、10、23
会場：ウイングまつばせ、大矢野総合体育館
結果：優 勝／エンフレンテ熊本フットサルクラブ
準優勝／FORZA B.B

JFA 第28回 全日本U-15フットサル選手権熊本県大会

日程：予選) 2022／9／4、決勝) 2022／10／23
会場：大矢野総合体育館
結果：優 勝／FKアドリア水俣
準優勝／ヴィラノーバ水俣

▶大会結果、7ページからの続きです

九州大会

〈1種 社会人〉

KYFA 第29回九州クラブチームサッカー選手権大会
全国大会予選

日程：2022／9／10、11
会場：いぶすきフットボールパーク(鹿児島)
結果：優 勝／嘉島サッカークラブ(熊本)
準優勝／時津サッカークラブ(長崎)
第3位／FC中津(大分)、FC.キングカメハメハ(沖縄)

藤井杯 KYFA 第15回九州社会人0-35サッカー大会

日程：2022／11／5、6
会場：福岡フットボールセンター
結果：優 勝／三宅ティグザ(福岡)
準優勝／中津OBシニアO-35(大分)
※トレゾール八代は予選敗退

KYFA 第46回 九州各県サッカーリーグ決勝大会

日程：1／14、15
会場：島原市営平成町人工芝グラウンド(長崎)
結果：優 勝／KAJIKI F.C.(鹿児島)
準優勝／九州総合スポーツカレッジ(大分)
第3位／マリーゴールド熊本、EVインテルTOSU(佐賀)

〈1種 学生〉

第37回九州各県大学サッカーリーグ決勝大会

日程：2022／12／3～5
会場：福岡フットボールセンター他
結果：優 勝／熊本大学医学部

〈女 子〉

KYFA 第40回九州女子サッカー選手権大会

日程：2022／10／8～10
会場：西都市清水台運動公園(宮崎)

結果：優勝／第1代表)ヴィアマテラス宮崎(宮崎)
第2代表)神村学園高等部女子サッカー部(鹿児島)
※秀岳館高等学校(代表決定戦敗退)、
熊本ルネサンスフットボールクラブ(初戦敗退)、
熊本ユナイテッドSCフローラ(初戦敗退)

KYFA 第27回九州U-15女子サッカー選手権大会

日程：2022/11/5～7 会場：宮崎県高原町運動公園
結果：優 勝／神村学園中等部女子サッカー部(鹿児島)
準優勝／八女学院女子フットボールクラブ(福岡)
第3位／日置シーガールズFC(鹿児島)
※熊本ユナイテッドSCフローラ(初戦敗退)

KYFA 第26回九州U-18女子サッカー選手権大会
兼JFA 第26回全日本U-18女子サッカー選手権大会
九州地域予選大会

日程：2022／11／12、13
会場：中津市永添運動公園(大分)
結果：優 勝／第1代表)ヴィアマテラス宮崎Soreina(宮崎)
第2代表)大分トリニータレディース(大分)
※熊本ユナイテッドSCフローラ(初戦敗退)

KYFA 第33回九州高等学校女子サッカー選手権大会
兼第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
九州地域予選

日程：2022／11／19～22
会場：島原市営平成町人工芝グラウンド(長崎)他
結果：優 勝／神村学園高等部女子サッカー部(鹿児島)
準優勝／柳ヶ浦高校(大分)
第3位／東海大学付属福岡高校(福岡)
※秀岳館高校(2回戦敗退)、東海大学付属熊本星翔高校(初戦敗退)

JFA U-12ガールズゲーム2022九州 第9回なでしこ
MIYZAKIカップ

日程：2022/11/26、27 会場：宮崎県総合運動公園
結果：優 勝／南薩ガールズ(鹿児島)
準優勝／北中頭DREAM(沖縄)
第3位／大村チェリーズFC(長崎)
※嘉島セルシアFC(1位グループ4位)、
ビアンカスにしはら(4位グループ2位)

※嘉島セルシアFC(1位グループ4位)、
ビアンカスにしはら(4位グループ2位)

KYFA 第34回九州0-30女子サッカー大会兼
JFA 第34回全日本0-30女子サッカー大会九州地域予選

日程：2022/12/18 会場：佐賀市健康運動センター
結果：優 勝／ENSOWA KUMAMOTO(熊本)
準優勝／サガンウェーブ(佐賀)
第3位／国見FCレディース(長崎)

〈フットサル〉

KYFA 第19回九州女子フットサル選手権大会

日程：1／14、15
会場：佐世保市東部スポーツ広場体育館(長崎)
結果：優 勝／ALEGRE CAMINHO(佐賀)
準優勝／ヴィアマテラス宮崎(宮崎)
第3位／Primeiro熊本、カティオーラALTY(大分)

全国大会

〈1種 社会人〉

第29回全国クラブチームサッカー選手権大会

日程：2022／10／29～11／1
会場：三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場ほか
結果：優 勝／OKFC(大阪)
準優勝／FC KUROSHIO84(高知)
第3位／E・X・D(三重)、TSV1973四日市(三重)
※嘉島サッカークラブは準々決勝敗退

〈2 種〉

第101回全国高校サッカー選手権大会

日程：2022／12／28～2023／1／9
会場：国立競技場(東京)他
結果：優 勝／岡山学芸館高校(岡山)
準優勝／東山高校(京都)
第3位／大津高校、神村学園高校(鹿児島)



Vol.17

アスリートのための「トレーニング食(めし)」、レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください!



パエリアに使うサフランには、強い抗酸化作用があり、疲労回復などに効果があるほか、血流促進などにも役立つと言われています。また、あずきは食物繊維やタンパク質、ビタミンB群、鉄分やカリウムといったミネラルのほか、サボニンやポリフェノールなど、さまざまな栄養素をバランスよく含んでいる“優秀”な食材です!

渡邊 まみさん／食育料理研究家、アスリートフードマイスター

熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍する傍ら、熊本県民テレビ「てれびタ」にも出演中。現在、大学生の長男はサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram (mamipan358) で情報発信中。

recipe 1 フライパンでできる
簡単パエリア

サフランは高価ですが、とても栄養満点なのでオススメです! サフランは水に入れて1時間以上置いてから使うようにしましょう。



【作り方】

- ① 水にサフランを浸しておく。
- ② 鶏むね肉と野菜をひと口サイズに切りそろえる。
- ③ フライパン(フタ付のもの)にオリーブオイル、ニンニクを入れて香りがするまで中火で炒める。
- ④ 米を透明になるまで炒める。
- ⑤ 炒めた米に鶏むね肉と魚介類、野菜を入れ、さらに炒める。
- ⑥ 魚介類を取り出し、サフラン水、トマトを入れてフライパンにフタをする。
- ⑦ 最初は強火で約5分、その後弱火にして12分炊き上げる。最後に強火に戻しておこげを作る。
- ⑧ 取り出しておいた魚介類をフライパンに戻し、スナッペンなどを乗せて完成!

■材料(4～5人分)
オリーブオイル 大さじ3
ニンニク 1片
米(無洗米) 2カップ
玉ねぎ 1/2個
パプリカ 1個
鶏むね肉 100g
塩こしょう 大さじ1
トマト 2個
エビ 5尾
サフラン 0.2g
水 2カップ強
スナッペンなど 10本
レモン 1個
パセリ 適量
イカ、アサリなど お好みで追加

recipe 2 あっという間にできちゃう!
いちご大福

仕上げる時、生地が手に付くと大変なので両手にまんべんなく片栗粉を付けておくと綺麗に仕上がります。ポイントは生地をしっかりと半透明にすること!



【作り方】

- ① いちごは洗って水気を切ってへたを取り、1個30g弱のあんこにいちごをのせて包み丸める。
- ② 鍋に白玉粉を入れ、甜菜糖、水を加えて溶かす。
- ③ 中火でかき混ぜる。半透明になったら、片栗粉の上に取り出す。
- ④ 冷めすぎると扱いにくいので、温かいうちに両手に片栗粉を付けて8個に分ける(熱いので火傷に注意してください)。
- ⑤ 生地は真ん中を厚めにして円形に伸ばし、①にかぶせるようにして、底を包み丸める。掌にのせて丸め、形を整える。



「KFA NEWS」は、
ここで手に入れよう!

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>



右記QRコードからも
アクセスできます➡



編／集／後／記

「チャレンジド委員会」という言葉が定着しつつあるのか、少しずつ顔が見える仕事ができるようになったと錯覚しております。障がい者サッカーの理念に「サッカーならどんな障害も越えられる」というモットーがあります。いろいろなご縁に感謝しつつ、今後も少しずつ活動を知ってもらえるような内容の編集に繋げていけたらと思っています。(湯原)

広報委員として「KFA NEWS」に関わらせていただくようになって丸7年が経過しました。この間、熊本県のサッカーファミリーの皆様により楽しんでもらえるよう、内容もいろいろとブラッシュアップしてきました。今後も風戸委員長のリリーダースhipの下、広報委員会の活動はさらに充実、拡大していく予定ですのでご期待ください!(村山)

【お詫びと訂正】
KFA NEWS前号(22号)で、3ページの「2022年度定時総会開催」の記事中にある「2021年度熊本県サッカー協会表彰式」の熊本県サッカー協会功労者のお名前が間違っていました。正しくは下記の通りです。お詫びして訂正致します。

誤) 北原悦子 ➡ 正) 北原市子